



サッカー 「水沢六十雀」(選手)

すが わら たつ ろう
菅原達郎さん 67歳
● 参加歴：1回目

わくわくドキドキ感いっぱいのおねりんピック

私たちのサッカークラブは、40歳という“適齢期”になると参加できるシニアクラブです。シニアサッカーの場合、10歳単位の区分で全国大会が開催されており、私たちのクラブで現在活動している最高齢の人は77歳で、県の代表としても頑張っています。

さて、今回シニアトップカテゴリーのひとつ「ねりんピックえひめ大会」に、長年一緒にボールを蹴ってきた私たちが、平均年齢70歳に近いにもかかわらず参加できたことは、本当にうれしく楽しいものでした。また、全国の仲間と対戦することができ、いつもの県内外の60歳リーグ等とは違って、メダルにこだわった「わくわく感」や「ドキドキ感」もいっぱいの大会でもありました。

ゲームでは残念ながら、膝の故障や肉離れなど選手の故障も多く出てしまい、チームとしては満身創痍の状態となって1分2敗の結果に。でも、各試合のゲームプランを共有しながらのプレーは、いつもの私たちのサッカーだったか

なと思っています。

今回の大会では、この他にもじゃこ天を頼張っていたボランティア参加の女子高生と意気投合して記念写真に入ってもらったり、宿泊先では東北出身で愛媛に嫁がれたという方と出会い、「久しぶりに東北弁を聞いた～」と言われたときには、むしろこちらの方がうれしくなっていました。また、多くの人から「奥州市ってどこ？」と聞かれたのですが、今までは「世界遺産の平泉の隣り」と説明していましたが、今回は「エンジェルス（当時）の大谷翔平選手の出身地で、彼の実家は我々のすぐそば」と説明しました。偉大な選手にあやかって、相手の方々ともすぐフレンドリーになれました。

ところで、今回の日程は3泊の予定でしたが、閉会式の後に私たちはレンタカー（マイクロバス）を借りて高知県に向かいました。四国地方はそう頻繁に来ることができないので、数日観光地を巡り、しまなみ海道をドライブして、帰路は広島空港でした。「休肝日」は一日もありませんでしたが、仲間と一緒に、本当によい思い出を作ることができました。主催者並びに関係者のみなさんには深く感謝申し上げます。機会があれば、またいつかどこかでお目にかかりたいものと思っています。ありがとうございました。



満身創痍で見事に戦い抜いたチームのメンバーたち。(前列の左端)